

令和4年(2022年)度
幼稚園・保育園評価シート(自己評価)

幼保連携型認定こども園越谷さくらの森

1. 本園の教育目標

《保育理念》

・ひとり一人を大切に個性を豊かに育てる。また、保護者からも信頼され、地域に愛されるこども園を目指す。

《教育・保育方針》

・「愛と優しさ」を大切にキリスト教精神を主に、思いやりといたわりの心を育む教育・保育を目指す。

《教育・保育目標》

○健康で明るい子 ○約束を守り友だちと仲良く遊べる子 ○思いやり深く心の広い子
○物事に感謝できる心豊かな子

《教育・保育年間計画》

○年度初めに幼稚園部門は学年ごとに、保育園部門においては0歳～2歳における年齢・月齢ごとに、教育保育の方針の内容、方針の目指す意味を、子どもの姿と育てたい側面を取り上げ、園長、主任、保育士によって年間計画を作成している。

○子ども達の目標も各年齢・学年ごとに保育者間で前年度を振り返り作成している。

○各年齢・学年ごとに項目を挙げ、保育の内容に成長発達を捉えるようにしている。

・養護(生命の保持・情緒の安定)・食育(職を営む力の基礎)

・教育・保育(健康・人間関係・環境・言語・表現)

○年間計画の中に健康管理、安全対策、地域や保護者等の連携等、事業計画として組みいれている。

・健康管理及び支援・環境及び衛生管理・安全対策・事故防止・保護者及び地域等への支援・研修計画・小学校との連携・特色ある保育・地域の行事への参加(関係資料は別紙のとおりです。シート作成時の参考にしてください。)

※評価には次のA・B・C・Dで記入してください。

A=そう思う。

B=まあそう思う。

C=あまりそう思わない。

D=そう思わない。

令和4年(2022)度 自己評価表(幼稚園用)

実施年月日:令和5年1月31日

A:そう思う B:まあそう思う C:あまりそう思わない D:そう思わない

I 保育目標・保育方針	評価			
	A	B	C	D
① 園の保育目標や保育方針は分かりやすい。	13	7	0	0
② 園の保育目標が子ども達の中に生きている。	11	7	2	0
③ 園の保育目標や方針について、園長や他の保育士と話す機会がある。	2	9	2	2
④ 保育方針は、その時々の子に合ったものになるように定期的に見直されている。	3	14	2	1
⑤ 園の保育目標は、園の創立の理念を生かしている。	9	11	0	0

II 保育計画	評価			
	A	B	C	D
① 園の保育計画は、教育目標を生かして作られている。	13	5	2	0
② 子どもたちの年齢ごとの保育計画がある。	16	4	0	0
③ 園の保育計画は、園長と保育士が話し合いながら作られている。	8	10	2	0
④ 園の保育計画は、必要に応じて見直されている。	7	11	2	0
⑤ 園児のしたいことや、興味のあることを取り入れられるようになっている。	13	5	1	1

III 保育環境	評価			
	A	B	C	D
① 保育環境を常に清潔に保ち、美観を大切に心地よい環境で保育が出来るように努めている。	13	7	0	0
② 室内の温度、湿度、換気、照度等は園児の活動に合わせて配慮している。	18	2	0	0
③ 安心できる人的・物的環境をつくり「感覚」の働きを豊かにするように配慮している。	12	8	0	0
④ 屋外での活動の場があり、園児が安全に活動しやすい環境を整えている。	15	5	0	0
⑤ 年齢の異なる園児が、触れ合えるような環境構成をしている。	11	8	1	0

IV 保育内容・方法	評価			
	A	B	C	D
① 全ての園児について、一人ひとりの最善の利益とその人権を尊重している。	17	3	0	0
② 園児にわかりやすい温かな言葉遣いで穏やかに話をしている。	13	7	0	0
③ 基本的な生活習慣は園児の発達を考慮し、家庭と連携して状況に応じて対応している。	15	5	0	0
④ 身近な自然に触れる機会を用意し、季節感や豊かな感性を育む考慮をしている。	15	4	1	0
⑤ 園児同士の関わりで、順番を守るなどの社会的ルールを身に付ける配慮をしている。	16	4	0	0

V 食育	評価			
	A	B	C	D
① いろいろな味に親しみ、喜んで食事ができるようにした。	9	11	0	0
② 食材に興味を持ち、名前を覚えるような声掛けができた。	11	9	0	0
③ 食事のマナーを知り、守って楽しく食事ができる環境ができていた。	10	10	0	0
④ 栄養素について興味・関心を持ち、苦手な食べ物も食べられるように工夫が出来た。	6	12	2	0

⑤	野菜を育てる過程を楽しみ、収穫の喜びを味わい、達成感が得られるようにした。	3	11	3	3
---	---------------------------------------	---	----	---	---

VI 保育士の役割・質向上		評価			
①	一人ひとりの園児をよく観察するように心がけている。	17	3	0	0
②	全ての園児に平等に接するように心がけている。	16	4	0	0
③	その場にふさわしい言葉遣いができる。	11	9	0	0
④	研修に行った保育士の研修内容は、全員に紹介される。	4	8	6	2
⑤	園児のモデルとなれるように気を付けている。	11	9	0	0
⑥	保護者との信頼関係が出来ている。	8	12	0	0

VII 子育て支援		評価			
①	園児の送迎時に園児の様子を保護者に伝えている。	10	9	1	0
②	保護者の子育てについての相談にのっている。	7	12	1	0
③	子育て支援の内容について全員で話し合いをしている。	5	6	8	1
④	子育て講演、情報提供を行っている。	1	10	9	0
⑤	保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている。	13	7	0	0

VIII 地域住民や関係機関との連携		評価			
①	地域の人々と親しく挨拶ができる。	11	9	0	0
②	地域の方は、園のことに興味を持ったり、園の方針を理解している。	8	10	2	0
③	地域の行事に参加し、地域の文化や生活に触れている。	4	6	8	2
④	地域の人との交流を大切にしている。	8	6	6	0

IX 運営管理		評価			
①	園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している。	18	2	0	0
②	園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への対応ができる体制がある。	17	3	0	0
③	保護者の意見はしっかりと聞き、園長に報告している。	19	1	0	0
④	園の施設の安全点検、衛生管理をしっかりと行っている。	2	8	0	0
⑤	事故災害時のマニュアルがあり、職員がすぐに見ることができる場所にある。	17	3	0	0
⑥	緊急時のために医療機関等の連絡先が明示されている。	16	4	0	0